

行事等

12月1～3日：第41回日本獣医師会獣医学術学会年次大会（令和5年度）
12月7日：マイクロチップ制度及び情報システムに係る円卓会議（第12回）に鳥海副会長、境専務理事が出席
：獣医師賠償責任保険中央審議会
12月10日：国家資格愛玩動物看護師誕生 ヤマザキ学園創立55周年 記念式典及び祝賀会に藏内会長、佐伯理事、村中顧問が出席

12月13日：第88回日本獣医師会雑誌編集委員会
12月14日：令和5年度第2回国際獣疫事務局（WOAH）連絡協議会に境専務理事が出席
12月15日：令和5年度中間監査
：令和5年度第5回理事会
12月16日：アジア獣医師会連合（FAVA）執行部会議（WEB）に藏内会長が出席
12月21日：令和5年度第9回業務運営幹部会

案内

第63回 獣医疫学会学術集会のご案内

獣医疫学会では、下記の通り学術集会を開催いたします。ご興味のある方は是非ご参加ください。

日時：2024年3月17日（日） 9:00～17:00
開催方法：対面及びWebexによるオンライン配信でのハイブリッド開催
対面開催会場：日本獣医生命科学大学第一校舎 E棟1階E111教室

内容：
9:00～12:00 一般演題口演会
14:00～17:00 セミナー：それって「疫学」じゃないですか?!

講演1：ヨーネ病の防疫対応における疫学の活用
榑原伸一先生（北海道石狩家畜保健衛生所）
講演2：鹿児島県での高病原性鳥インフルエンザの局所的流行に関する空間解析と発生要因に関する一考察
岩本滋郎先生（鹿児島県始良家畜保健衛生所）
講演3：肉用名古屋コーチンにおけるワクチンの飲水投与方法改善への取り組み
吉田愛実先生（愛知県東部家畜保健衛生所）

講演4：茨城県におけるBLV病原性分類とBola-DRB3遺伝子型解析に関する調査成績
藤井勇紀先生（茨城県農林水産部畜産課）

参加費：獣医疫学会の正会員・学生会員・賛助会員は無料
非会員は3,000円（振込手数料はご負担ください）
参加申込（非会員にあっては申込・参加費振込）の締切：2024年2月23日（金）
※事前登録制となりますのでご注意ください。

・お申込みは獣医疫学会ホームページ（<https://vet-epi.org/>）の専用フォームよりお願いします。
・更新情報、一般演題一覧等のご案内については、随時ホームページをご確認ください。

お問合せ：獣医疫学会事務局（jsve-soc@umin.ac.jp）

第32回世界牛病学会の開催

第32回世界牛病学会（World Buiatrics Congress 2024）が、2024年5月20日～24日、メキシコのカンクンにて開催されます。是非ご参加ください。

<https://www.wbcmexico2024.com/>

なお、本学会の一般演題の要旨提出締切は、本年12月31日まで延期となっております。



案 内

獣医コミュニケーション研究会 (NDK)

日本獣医師会雑誌「獣医療とコミュニケーション」連載コラボセミナー

NDKでは、連載「獣医療とコミュニケーション」と連動したコラボセミナーを予定しております。著者の方に連載記事と関連した内容についてさらに掘り下げてお話しいただけます。参加費無料でzoomにて行いますので、ふるってご参加ください。

日 時：2024年1月26日(金) 20:00～21:30
講 師：柴田正志 さん (静岡県東部家畜保健衛生所)
(日獣会誌 2022年4号掲載)

演 題：「家保の業務で必要となる
コミュニケーションスキル」

進 行：未定

申込先：[https://forms.gle/
mPgFLMGR7JmvKYPU7](https://forms.gle/mPgFLMGR7JmvKYPU7)

申込締切り：なし (参加無料)



日 時：2024年2月28日(水) 16:00～17:30
講 師：水谷 尚 さん (日本獣医生命科学大学)
(日獣会誌 2024年1号掲載)

演 題：「代謝プロファイル試験の成否は
コミュニケーションが握っている」

進 行：未定

申込先：[https://forms.gle/
rVTXc9dAiWgtBCRA6](https://forms.gle/rVTXc9dAiWgtBCRA6)

申込締切り：なし (参加無料)



お問い合わせ先：堀北哲也 (horikita.tetsuya@nihon-u.ac.jp)

日本獣医師会獣医学術学会誌投稿原稿の募集について

日本獣医師会学会においては、構成獣医師をはじめ多くの獣医療関係者からの獣医学術学会誌掲載の研究論文を随時募集しておりますので、奮ってご投稿願います。

学会では、獣医師専門職をはじめ、獣医学系大学の学生、獣医学関係分野の研究者等が学術研究の発表をされる場として、獣医学術学会誌への投稿原稿を広く募集しています。

日本獣医師会が毎年度開催する獣医学術学会年次大会で一般口演された研究発表等も、是非ともご投稿いただき、誌面での発表をお願いします。

なお、投稿に際しては「日本獣医師会獣医学術学会誌投稿規程 (第76巻12号572頁)」及び投稿原稿の審査や編集が円滑に行われることを目的に策定された「日本獣医師会獣医学術学会誌投稿の手引き (第76巻12号576頁)」を参照願います。

募 集

日本獣医師会 第36回日本動物児童文学賞作品募集要項

～人と動物との共存等を扱った作品の募集～

1 名 称

第36回日本動物児童文学賞

2 目 的

この事業は、動物の愛護及び管理に関する法律（昭和48年10月1日法律第105号、以下「動物愛護管理法」という。）の目的及び基本原則等の趣旨に則り、次代を担う子供たちが正しい動物福祉・愛護の考え方を身に付けることができるよう、動物の福祉・愛護に関するより良い文学作品を広く募集し、選考・審査の上、入賞作品を日本動物児童文学賞として決定し表彰・公表するとともに特に優れた作品を普及させることにより、児童の健全な育成と豊かな人間性を涵養することを目的として実施する。

3 募集期間

令和6年1月1日(月)～同年4月20日(土)

(※当日消印有効)

4 募集内容

読者対象を満6歳以上12歳までの学齢児童とし、動物の虐待防止、動物の適正飼養、人と動物のふれあい、人と動物との共生及び動物福祉・愛護等を扱ったもので未発表の作品であること。(ただし、商業出版を目的としない同人雑誌等への発表は差し支えない。)

5 応募規定

- (1) 原則として日本語ワープロソフト等を用いて作成した電子データによる原稿とし、原稿データを郵送または電子メールへの添付により『10 応募先』に送付すること。手書き原稿も受け付けるが、その場合は、丁寧な字ではっきりと書くこと。
- (2) 原稿は、A4判横向き〔43字×28行〕を縦書きで作成すること。本文（あらすじを除く）の総枚数は13枚以上20枚以内、フォントサイズ（文字の大きさ）は12ポイントとする。ただし、手書き原稿の場合は、400字詰原稿用紙を縦書きで使用し、本文の総枚数40枚以上60枚以下とする。
- (3) 1枚目は応募用紙、2枚目はあらすじ、3枚目からは本文とする。最初の1枚目の応募用紙には、①

タイトル、②応募者の氏名(フリガナ)、③年齢、④性別、⑤職業、⑥郵便番号、⑦住所、⑧電話番号／FAX番号、⑨E-mailアドレス、⑩主要登場動物、⑪原稿（応募用紙、あらすじを除く）の枚数、⑫本賞の作品募集を何で知ったかを明記すること。

2枚目には、400字以内で作品のあらすじを記載すること。

3枚目から本文を開始し、ページ番号を中央下部に記載すること。(応募用紙とあらすじはページ数に含まない)

本文に氏名は記載しないこと。

- (4) 原稿は、ホッチキスや、とじ紐などで綴じないこと。
- (5) 応募者の個人情報の取扱いは以下のとおりとする。応募者及び、応募者が未成年の場合その保護者は、内容を確認し、同意したうえで応募すること。

① 個人情報保護管理者

公益社団法人 日本獣医師会 事務局長

② 利用目的

応募者の統計的分析、作品の審査、審査結果の連絡など「第36回日本動物児童文学賞」に係る事務処理

③ 個人情報の第三者提供

本人の個人情報を第三者に提供しない。

④ 個人情報の委託先への提供

「第36回日本動物児童文学賞」に係る事務処理業務を遂行するために必要な範囲内で個人情報を委託先に提供することがある。

⑤ 個人情報に係る問合せ窓口

個人情報に係る問合せは下記『11 問合せ先』に示す連絡先の個人情報保護担当者まで連絡できる。

尚、個人情報を本会へ提出することは任意だが、必要事項を提出しない場合、適切な選考・審査ができない場合がある。

6 応募資格

プロ・アマチュアを問わず、年齢15歳以上の者とする。ただし、過去の本賞における大賞受賞者は対象外とする。

7 賞

日本動物児童文学大賞 1作品 = 30万円

日本動物児童文学優秀賞 2作品以内 = 20万円

日本動物児童文学奨励賞 5作品以内 = 5万円

※副賞は所得税法に則り源泉徴収の対象です。

大賞・優秀賞受賞作品は日本動物児童文学賞受賞作品集に収録され広く配布される。

なお、大賞及び優秀賞を受賞した場合には、受賞作品の作者は挿絵を3枚以上本会へ提供すること。

8 発表

令和6年9月下旬頃に、本会のホームページ上で受賞作品を掲載する。

9 主催

公益社団法人 日本獣医師会

10 応募先

応募原稿受付専用メールアドレス：

bungaku@nichiju.or.jp

〒107-0062

東京都港区南青山1-1-1 新青山ビル西館23階
公益社団法人 日本獣医師会 宛て

*応募の際は、郵送の場合は封筒に、電子メールの場合は件名(タイトル)に、「第36回 日本動物児童文学賞 応募作品 在中」と記入すること。

*上記メールアドレスへ原稿を送った場合、応募受付の確認メールが4営業日以内に届かなかつ

た際には、『11 問合せ先』に連絡すること。

*データ原稿と紙面の原稿を重複して送付しないこと。

11 問合せ先

公益社団法人 日本獣医師会事務局

☎03-3475-1601

※応募作品の内容訂正、審査状況に関する問合せは不可

12 著作権

(1) 入賞作品の著作権は著作者に帰属するものとする。ただし、本事業に伴い実施する日本動物児童文学賞入賞作品集への掲載及び本会ホームページへの掲載並びに本会の事業において特に必要な場合には、本会はこの作品をいつでも無償で利用できることとする。

(2) 著作者が入賞作品を出版等する場合には、日本獣医師会日本動物児童文学賞入賞作品である旨を明記することとする。

13 その他

(1) 応募作品は返却しない。

(2) 生成型AI等を用いて作成した作品、生成型AI等を用いて作成したものに手を加えた作品の応募は不可とする。

(3) 「日本動物児童文学賞入賞作品集」は切手310円分(送料)を同封の上、本会事務局まで申し込めば希望者に送付する。(在庫数に限りがある。)

日本獣医師会雑誌投稿原稿の募集について

日本獣医師会においては、構成獣医師をはじめ多くの獣医療関係者等から日本獣医師会雑誌への投稿原稿を広く募集しております。

なお、投稿に際しては、「日本獣医師会雑誌投稿規程(第76巻12号562頁に掲載)」を参照願います。

